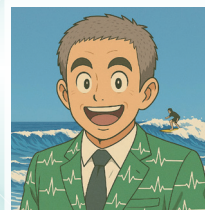


# 心電図 マスターアプリ

## 活用法!

「心電図マスターアプリ」の編著者



大河原治平

株式会社近代消防社  
スーパーアドバイザー／研修講師  
Support Book研究会 代表  
日本臨床救急医学会 評議員  
救急救命士  
元埼玉西部消防局消防署長

〔「心電図マスターアプリ」の機能紹介記事〕2025年7月号P.48、8月号P.49参照

### 第3回 Level 3（基本調律と期外収縮を読む）

第3回は**Level 3（基本調律と期外収縮を読む）**です。

基本調律とは、心電図の全体を支配するリズムのことで、16種類です。

まず、基本調律を判読します（**心電図マスターアプリ活用法！第2回、近代消防2025年10月号P.39参照**）が、期外収縮が発現している心電図では、基本調律の判読が難しくなります。期外収縮が加わることで、がぜん現場の緊張感に近くなります。ここを乗り越えて基本調律を正解すると、期外収縮判読画面に進みます（**図1**）。

期外収縮の判読にもフローチャートを活用してください（**図2**）。

期外収縮とは、基本調律で規則的に現れているQRS、もう少し言えば、現れるであろうQRSに先行して現れるQRS

のことを言います。期外収縮のQRSが、元々のQRSの形の「そっくりさん」であった時、上室期外収縮と判読します。一方で、もともとのQRSよりも幅広だったり、形が異なったり、大きかったりした時、心室期外収縮と判読します。さらに、心室期外収縮は、「心室期外収縮」「R on T型心室期外収縮」「ショートラン」「多源性心室期外収縮」に分類してあります。

ここまでくれば、心電図の判読が「本当に楽しい!」と感じられるようになるはずです。「モニター心電図を読む」は、大きな目標ではありますが、判読の結果を、現場での判断や治療戦略などに活かすことが判読の真の意義ですので、正解後に表示される解説もよく読んで、マスターしてくださいね。



図1 Level 3（基本調律と期外収縮を読む）の画面

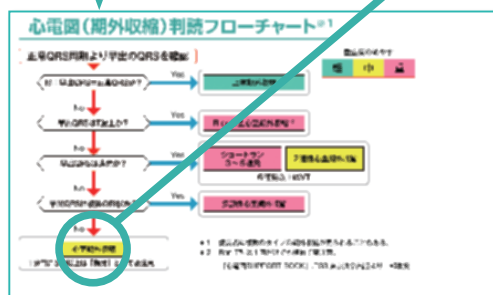


図2 心電図（期外収縮）判読フローチャート

※フローチャートを確認するには、製品版のダウンロードが必要です。



## 心電図マスターアプリ 好評発売中!

～モニター心電図の学習を徹底サポート～

Android/iOS両対応 **体験版：無料**／製品版：3,000円（追加課金なし）

監修：阪本敏久（武蔵野徳洲会病院総長） 編著：大河原治平（Support Book研究会 代表・日本臨床救急医学会 評議員・救急救命士）

